



ONSEN SATOYAMA ACADEMY

## 健康と温泉フォーラム 第30回月例研究会のご案内

- 主催 NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
- 日時 2012年8月28日(火)13:30~16:30(受付 13:00 から)
- 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室2

東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111 JR 上野駅公園口出て正面すぐです。

- テーマ「温泉はだれのものか—近代温泉産業の発展とその社会的歪み」  
講師 布山裕一 (社団法人日本温泉協会事務局長)

### ■ 講演内容

本年10月29日・30日、「日本の温泉の変革を考える」をテーマに「温泉里山アカデミー」が開催され、新潟県越後妻有に行政、文化、産業、医療など温泉の専門家が参集する。温泉と温泉地を取り巻く現状の改革のため、温泉と温泉地が国民の信頼にどのように答えていくか協議する。この10月の会合に向け、第30回月例研究会では、社団法人日本温泉協会事務局長の布山裕一氏を講師に迎える。布山氏はその著書「温泉観光の実証的研究」(2009年、御茶の水書房)で、「温泉は「観光」「まちづくり」「景観」などに関して、法制とそれにとまなう施策の面においてある程度かたちが整えられたと言えるが、温泉地の実態はどのようになっているのだろうか。(中略)温泉地の地域としての社会構造が大きく変化しようとしている今こそ、どのような形で温泉が利用されてきたのか—温泉に関する権利形態ならびに来湯客の利用状況も含めてどのように温泉地が発展してきたのかということ明らかにし、現状を様々な角度から分析しておくことが必要である。」地域社会の共有財産として温泉があり、共同浴場が街の中心地として栄えた時代から、主に団体利用中心の宿泊施設にあらゆる顧客のニーズを集中し、街全体の魅力と活気を失ったバブル期の温泉地。個人の健康志向の増大により温泉地の選別を重視するようになり、インターネットでの情報検索、予約システムが大勢を占める現在、受け皿として温泉地のあり方が根本的に問われている。温泉を観光・健康そして新たに浮上した新エネルギーとしての環境資源など多次元方向にある温泉を、歴史的、社会的な施策の推移とその課題を分析し、日本の温泉の制度的改革とその問題意識の共有と協働を図り、健全な日本の温泉文化のあらたな展開と展望を討議する予定です。温泉旅館経営者、旅行関係者、福祉介護関係者、温泉医学、健康サービス、温泉行政、学会など温泉産業全般の方々、マスコミそして温泉に興味を持つ愛好家の皆様のご参加をお待ちしております。



■ プログラム

「温泉はだれのものかー近代温泉産業の発展とその社会的歪み」

1300 受付

1330 司会・背景説明

1340 講演

布山 裕一(社団法人日本温泉協会事務局長)

1500 休憩

1515 ディスカッション

1630 終了

- 参加費 健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員 2000 円  
一般の方 3000 円  
報道関係者・学生 無料

(当日会場受付で承ります)

■ お申し込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAXにてお申し込み下さい。定員先着順40名とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp) TEL&FAX 03-6804-8575

NPO 法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 第30回月例会(2012年8月28日(火))に出席します。

● お名前  
(複数可)

● 団体名

● 住所

● TEL

● FAX

● E-mail

- 健康と温泉フォーラムの詳細はホームページを参照ください。

[www.onsen-forum.jp](http://www.onsen-forum.jp)